



4月に、本校6年生を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとめました。本調査は、国語・算数・理科の3教科のテストと同時に、学校生活や家庭での過ごし方、学習時間などを問う調査も実施されております。調査結果の中で、本校の傾向が表れている部分を中心に子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・算数・理科）

国語は、全国平均をやや上回りました。算数は苦手な子が多い傾向で、全国平均を下回っています。また理科は、全国平均を若干下回っているもののほぼ同じ正答率でありました。近年、情報活用能力・自分の意見を論理的に記述する力を問う問題が出題されるようになっています。複数の情報を結び付けたり比較したりして考えることや自分の考えが伝わるように言語化する力が必要となっています。

国語科より

全体的によくできています。無回答が少ないのもよい特徴です。記述式の問題での正答率が高く、特に、「手ぬぐいの良さを推薦する文章を条件に合わせて書く」問題（問題番号2の3）は、週末作文で条件付きの課題に取り組んできた成果が正答率の高さにつながっていると考えます。



算数科より

全体的に全国平均を下回っていますが、国語と同様、無回答は少なく問題に真剣に取り組めていることがうかがえます。



基本的な計算や公式を用いての単純な問題はある程度できています。

一方、以下の分野が少し気になります。

- 図形の問題（問題番号2〈1〉）・・・平行四辺形の作図
- 数の大きさの問題（問題番号3〈3〉）・・・数直線の読み取り
- 割合の問題（問題番号4〈4〉）・・・「10%増量」を求める問題。

基礎的・基本的な知識・技能は身についていますが、その活用に課題があります。今後、授業や家庭学習などで、解けるまでの過程を大事にしっかり行なっていきたいです。

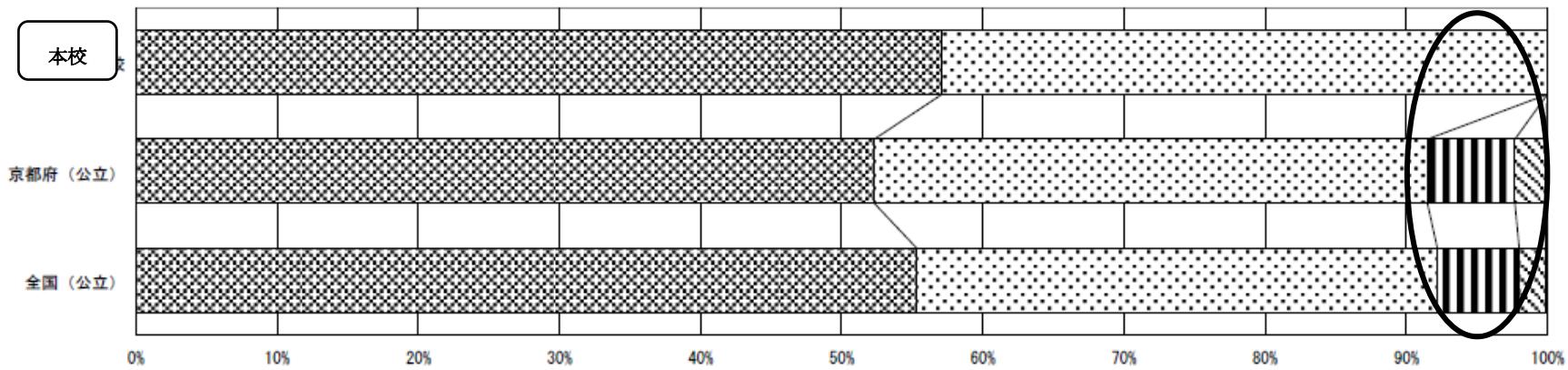
理科より

全体的にほぼ全国平均同等の結果でした。国語科や算数科と比べ、得意・不得意がはっきりと出ている問題が多かったです。同じ水のすがたに関する問題（問題番号4）の中でも、適切な実験方法かを判断する問題（問題番号4〈1〉）は大変高い正答率であったのに対し、水のすがたが変化するという知識の問題（問題番号4〈3〉）の正答率は大変低かったです。実際に行った実験や観察は覚えているが、その結果から得られる知識に関しては定着が低かったと思われます。体験を伴う実験や観察は学力定着に大変有効ですが、行ったことで安心してしまわず、結果の考察をより丁寧に行っていきたいです。

児童質問紙調査より

Q. 先生はあなたの良いところを認めてくれていますか

1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答

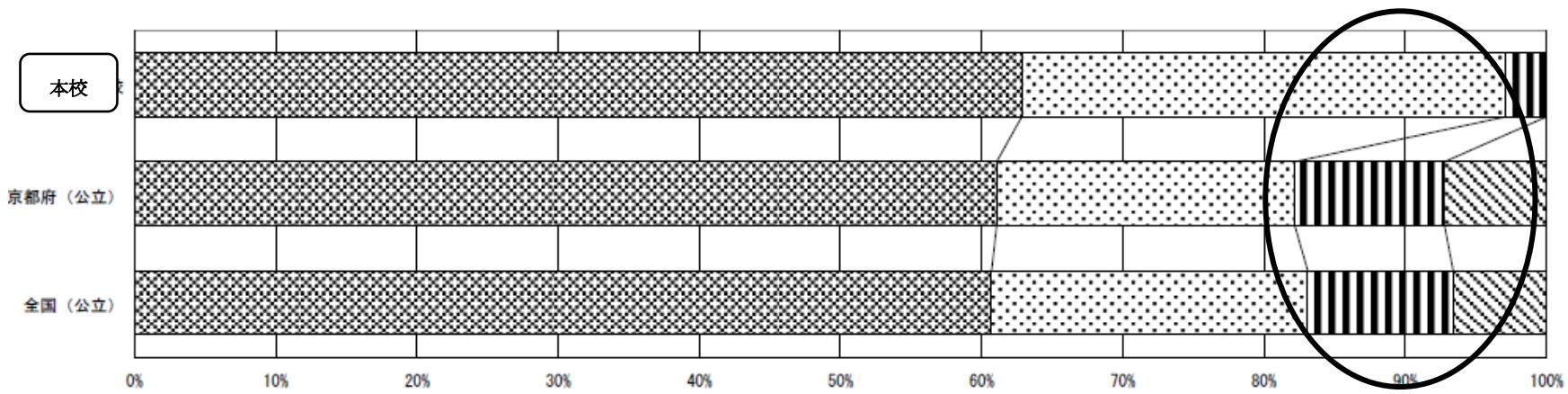


竹田小の児童全員が「どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない」と回答した児童は一人もいませんでした。

この結果は、日々の学校生活の中で、子どもたちが先生との関わりの中で自分の存在や努力が認められていると感じていることの表れです。私たち教職員一同は、これからも一人ひとりの児童の良さを大切にしながら、安心して学べる環境づくりに努めてまいります。

Q. 将来の夢や目標は持っていますか

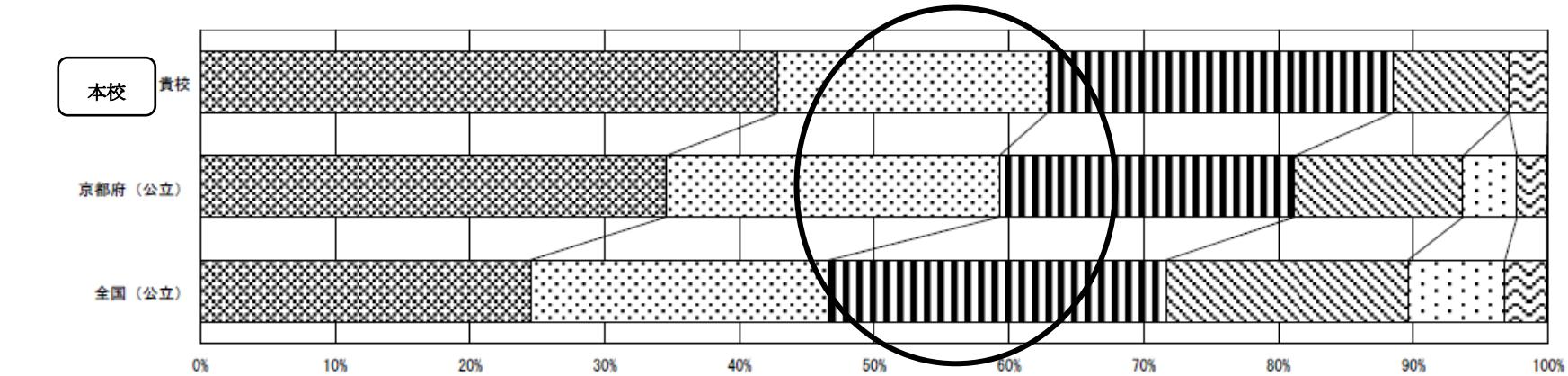
1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答



97%の児童が、夢や目標を持っているとこたえています。本校の学校教育目標は『夢に向かって輝く竹田っ子』です。全ての教育活動で、夢を持つことや夢を実現するために自分や他とのつながりを大切にすることの大切さを意識しながら進めている成果だと感じます。また、全国・全市平均が80%ほどであることと比較しても誇れることであると思います。

Q. 5年生までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか

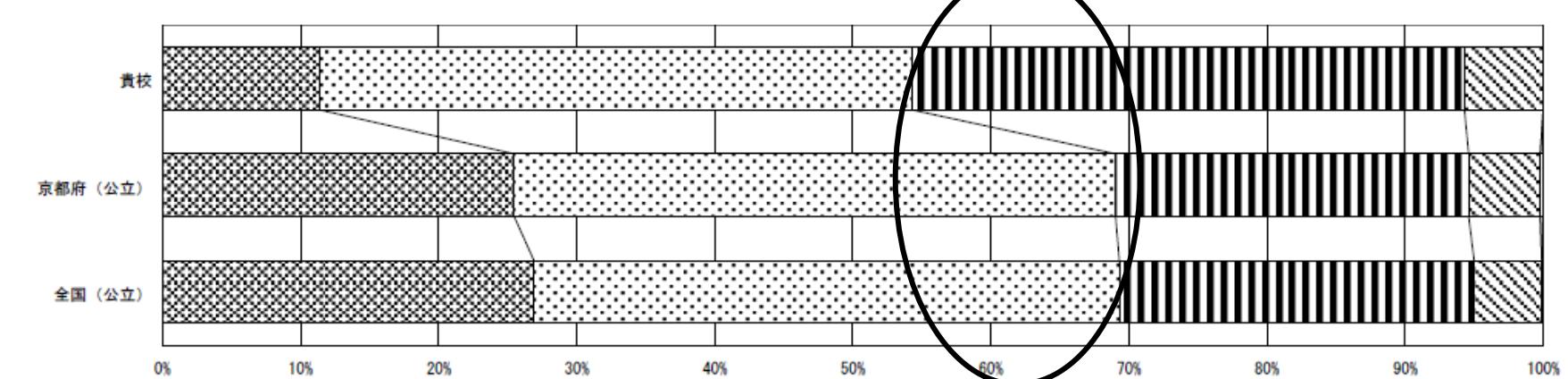
1. ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用） 2. ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業） 3. 週3回以上 4. 週1回以上 5. 月1回以上 6. 月1回未満 その他 無回答



全国的には「毎日（1日1回以上）」と答えた児童は47%と半分以下の割合でした。京都府は全国の中でも先進的にICT機器を教育活動の中で使用していますので58%と全国平均に比べて高めの割合となっています。本校も積極的に使用しているので63%の児童が毎日使用しているとこたえており、全国だけでなく京都の平均も上回る結果となっています。

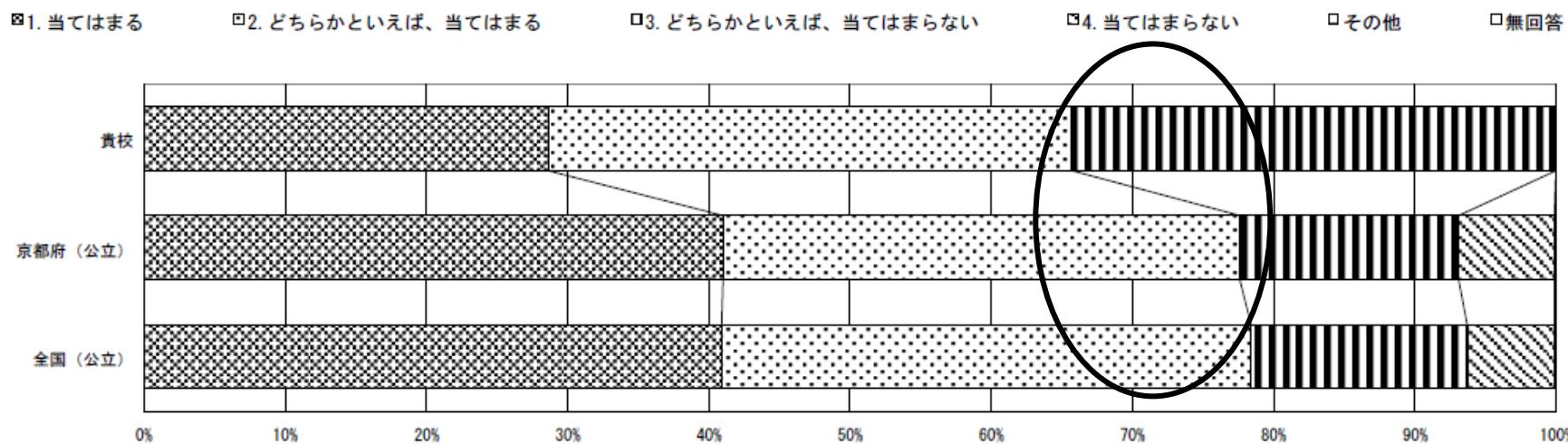
Q. あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか

1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答

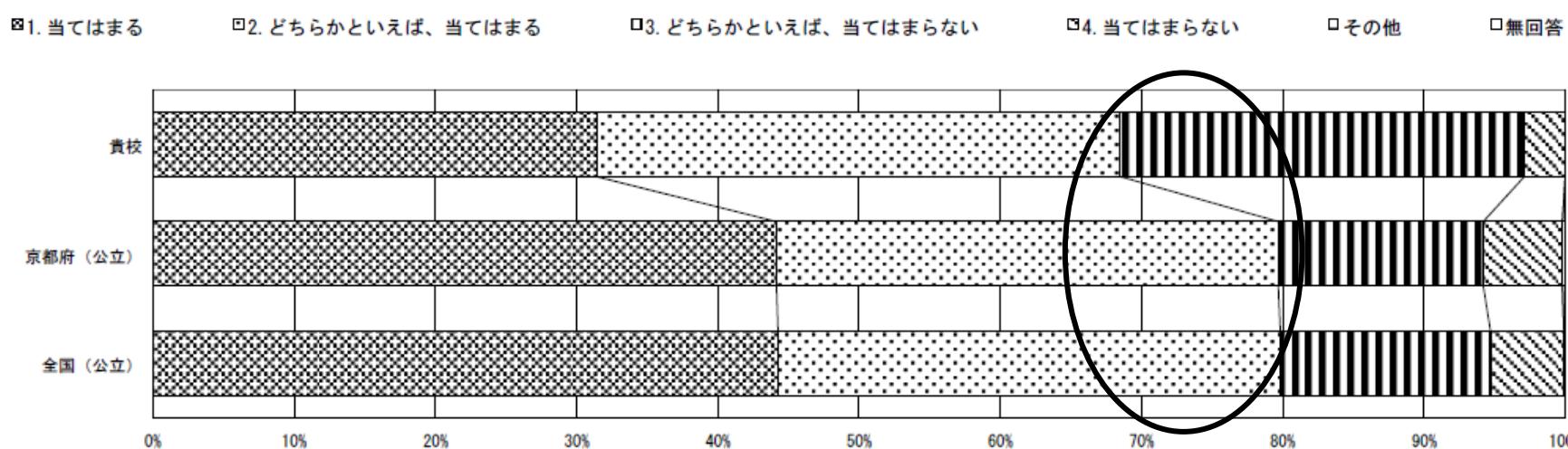


ひとつ前の「5年生までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の質問では全国や京都に比べ高い割合で使用できているという結果でしたが、ICT機器の操作だけでなく、目的に応じた活用方法や情報の整理・発信の力を育む必要があることを示していると受け止めています。今後は、児童がより主体的に機器を活用できるよう、活用場面に応じた使い方の指導（調べる・まとめる・伝える）をしていくなどの改善を進めてまいります。

Q. 理科の勉強は得意ですか



Q. 理科の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか



国語科や算数科は同じ「得意ですか」の質問に対し全国平均・京都平均とあまり差はなかったのですが、理科に関しては「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が少ないと結果となりました。テストの結果で比較すると本校は理科よりも算数科の方が苦手な児童が多いので、この質問結果は意外でした。「理科は将来社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問も同様に国語科や算数科と比べ理科だけ「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の割合が少なかったです。理科は、自然のしくみや身の回りの現象を理解することで、論理的思考力や探究心を育む大切な教科です。理科に関する話題を取り上げたり社会での活用例を紹介したりして、理科が身近な生活と関係していることを実感し、学ぶ意義を感じられるように進めてまいりたいです。

全体を通して

本校では、「夢に向かって輝く竹田っ子～夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子～」という学校教育目標のもと、保護者や地域の皆様の協力を得て、教職員一丸となって取組をすすめています。

目標の中の、「夢に向かう」とは、将来のなりたい自分・将来の就きたい職業を目指して、自分を大切にし、他とのつながりを大切にすることだと考えています。「自分（体・心・学力）を大切に」「他（家族・友達・地域の方々…）とのつながりを大切に」を目指す「竹田っ子」をこれからも応援していきたいです。

全国学力調査の児童質問については、今後の課題として、教職員みんなで共通理解し、改善に取り組んでまいります。



保護者の皆様へ

全国学力調査は、竹田っ子の学力や学習状況を客観的に把握し、教育の充実・改善を図ることを目的としています。全国的な傾向と比較することで、竹田っ子の学習の課題や成果を明らかにし、今後の指導に活かす貴重な機会となっています。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものではありません。

全国学力調査・アンケートの結果を参考に今後の授業改善や学習支援に取り組んでまいります。特に、授業では単なる知識の習得にとどまらず、考えを深める活動や話し合いを取り入れた展開が竹田っ子ひとりひとりの可能性を引き出し、学力向上につながっていくと考えます。ご家庭でも、引き続き、励ましの声かけを通して意欲を高めていただければ幸いです。



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「子どもを共に育む京都市民憲章」を実践しましょう！

